

再評価結果（平成15年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：齊藤 親

事業名	都市計画道路、豊島加茂線		事業区分	街路	事業主体	磐田市
起終点	自：静岡県磐田市天竜 至：静岡県磐田市中泉			延長	0.35km	
事業概要	都市計画道路豊島加茂線は、磐田市の西部地域を縦断する南北の骨格軸として位置づけられる延長約3.3kmの主要幹線道路である。 本事業区間は、JR東海道本線との立体交差を含む延長0.35kmの2車線道路である。					
H6年度事業化	S39年度都市計画決定 (H4年度変更)	H6年度用地着手	H13年度工事着手			
全体事業費	約26億円	事業進捗率	83%	供用済延長	0km	
計画交通量	9,000台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 15.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 4.8 / 30億円 事業費：4.6/30億円 維持管理費：0.17/0.17億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 73 / 73億円 走行時間短縮便益：70 / 70億円 走行費用減少便益：3.1/3.1億円 交通事故減少便益：0.04/0.04億円	基準年	平成15年	
感度分析の結果	交通量変動：B/C=2.7 (交通量+10%) B/C=2.2 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.2 (事業費+10%) B/C=2.7 (事業費-10%)					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（踏切交通遮断量が10,000台時/日以上（27,000台/日）の踏切道の除却） 安全な生活環境の確保（歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される） <p style="text-align: right;">他12項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	当路線は、磐田市の市街地を中心に豊田町及び竜洋町を連絡する幹線道路であるが、現状はJR東海道本線西石原踏切がボトルネックとなり、慢性的な交通渋滞が生じているうえ、自転車・歩行者などの交通弱者が危険にさらされている。そのため周辺の町から地域交流の促進、交通混雑の緩和等に主要な役割を果たす当路線の改良が期待されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	当路線の交通量が平成6年調査時3,869台/日から平成12年調査で7,407台/日に増大し、西石原踏切で渋滞が発生し、歩行者の危険も増大している。 平成17年3月の合併を目指し、磐田市を含む5市町村磐南地域の合併協議が進んでいる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地買収に約10年間を要したが、東海旅客鉄道(株)との協議も整い、現在順調に工事が進捗している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	現在、全線にわたり工事を進めており、平成17年4月に全線供用予定である。					
施設の構造や工法の変更等	JR東海道本線を跨ぐ橋梁区間について、PC橋を採用し、ライフサイクルコストの縮減を図る。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は更に増していると考えらる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。